

## ミヤマクワガタの雌雄モザイク

須田 修<sup>1)</sup>

### A gynandromorph of *Lucanus maculifemoratus* (Coleoptera, Lucanidae)

Osamu SUDA<sup>1)</sup>

国内におけるクワガタムシ科の雌雄モザイクについては、ミヤマクワガタ、ヒラタクワガタ、サキシマヒラタクワガタ、ノコギリクワガタ、オオクワガタ、キンオニクワガタなどの報告がある(荒谷・西野 1998)。しかし、一般的に非常に稀な記録と思われるのでここに報告する。

今回記録された雌雄モザイク個体はミヤマクワガタで、2011年6月29日に北海道河西郡芽室町北伏古において芽村浩二氏により採集されたものである。

また、芽村氏による採集時の状況等については次のとおりである。午後10時ころに道路脇の水銀灯に飛来していたものを採集した。採集時の天候は晴れで蒸し暑かった。その後、家に持ち帰り、市販の昆虫ゼリーを与え飼育したところ1週間生存した。飼育中は一緒にしていたミヤマクワガタの雄と交尾行動を行っていた。

次に、形態的特徴について以下に記す。

荒谷・西野(1998)によれば、これまで報告された雌雄モザイク個体のほとんどは、頭部や前胸を中心とした部位の正中線を境に左右方向で雄と雌の特徴が分かれている場合である。しかし、今回記録された個体は、一見、左側が雄、右側が雌の特徴を示しているように見えるが、雄と雌の

特徴の境界は単純に分かれるのではなく、全身にわたり複雑に混じり合っている(写真1)。

全長は左側で37mm、右側で35mmであり、この違いは左側の大あごが右側よりも2mm長いことによる。各部位を詳細に見ると、大顎は左側に内歯が認められるが非常に貧弱で、右側の大顎も

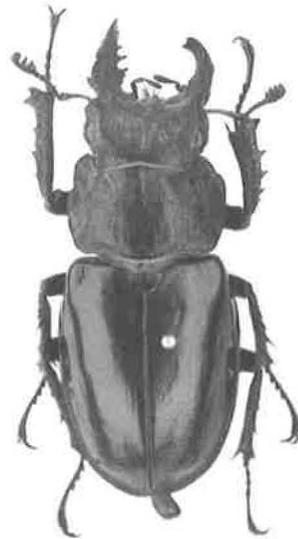


図1. 雌雄モザイク個体(背面)

Fig. 1. The photograph of a gynandromorph of *Lucanus maculifemoratus* (upperside)

1) ひがし大雪博物館 〒080-1403 北海道河東郡上士幌町ぬかびら源泉郷 Higashi Taisetsu Museum of Natural History, Nukabira-gensenkyo, Kamishihoro-cho, Hokkaido, 080-1403, Japan



図2. 大顎の拡大  
Fig. 2. The enlarged photograph of mandible



図3. 頭部と前胸の拡大  
Fig. 3. The enlarged photograph of head and pronotum

雌に近いように見えるが先端が二股に分かれていて、全体的に雄と雌の特徴が混在している（写真



図4. 雌雄モザイク個体（腹面）  
Fig. 4. The photograph of a gynandromorph of *Lucanus maculifemoratus* (underside)

2). 頭部は、貧弱ではあるがミヤマクワガタの雄に特有の突起が認められ、全体的な形態としては雄の特徴が強いが、表面は雄と雌の特徴が複雑に混じり合っている（写真3）。前胸についても頭部と同様の傾向を示している（写真3）。上翅は全体的には雌の特徴を示しているが、右側には雄と雌の特徴が混在している（写真1）。前肢は、左側が雄の右側が雌の特徴を示しているように見えるが、中肢と後肢については、概ね雌の特徴を示している（写真1）。また、腹面についても、概ね背面と同様の傾向が見られる（写真4）。

最後に、本標本を快く寄贈していただき、報告を承諾していただいた芽村浩二氏に感謝申し上げます。

#### 引用文献

- 荒谷邦雄・西野充泰, 1998. ヒラタクワガタの雌雄モザイク個体について. 昆虫と自然, 33 (8) : 12-16

#### Summary

A gynandromorph of *Lucanus maculifemoratus* (Coleoptera, Lucanidae) was captured alive in memuro-cho, Hokkaido, Japan on 29 June 2011 by Kouji Memura. This specimen has complex mosaic patterns with external features of both male and female.